

火縄銃の長さや重さ,感触を感じ取ってほしい

竜王西小学校の6年生は,社会で長篠の戦いで信長が勝利した理由について具体的に考えるために,かいじあむミュージアムキットの火縄銃を活用した。

事前	授業の中での補助資料という形で提示したので,特に事前指導は行わなかった。	
授業の概要	今回の授業では,『長篠の合戦地図』を手がかりに,信長の勝利の理由を具体的に考えて話し合い,信長はどういう人物であったかを想像する学習を行った。この戦いの勝敗を分けたのが鉄砲の使用であったことは周知の事実である。教科書には鉄砲の写真が掲載されているが,実際の鉄砲の長さや重さ,感触などを子どもたちに感じ取ってほしいという思いで,授業の最後にお借りした鉄砲を提示し,手に持ったり,感触を確かめたりして授業を終えた。	
活用したミュージアムキット	<p>よろいかぶと, 太刀</p> <p>試着した児童は,その重さにとても驚いていた。「こんなに重いうよろいかぶとを身につけて戦をしたんだ」</p> 	<p>火縄銃</p> <p>児童が一番興味を持ったのが,火縄銃だった。授業中ではあまり時間が取れなかったので,授業後,時間をとって自由に触れさせた。男子より女子の方が盛り上がっていた。</p> 
事後	戦国キットの返却期間まで数日あったので,授業後も休み時間や放課後等を利用して自由に触れさせた。男子以上に女子が興味を持って手にとっていたので驚いた。よろいかぶとはサイズが小さいため,身につけることのできる児童が限られてしまったのが残念。	
一言	<p>たとえレプリカであるにせよ,実物があるのとないのとでは,子どもたちの目の輝きが違う。社会科に関して言えば,日頃からできる限りいろいろな資料を準備して子どもたちに提示しようと努力している。今回は,たいへん参考になる資料を貸していただき,感謝している。</p> <p>鉄砲に関して言えば,玉をこめるキットなどもあれば,鉄砲を撃つまでにどのくらいの時間がかかったか分かるので,さらに有効な資料になるのではないかと思った。</p> <p>こういった資料があることがなかなか伝わりにくいので,もっと分かりやすい方法で情報を伝えていただけるとありがたい。</p> <p style="text-align: right;">(竜王西小学校 立澤正二)</p>	